



Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of

Sow the Seeds of Love

2002~03年度
国際ロータリー・テーマ



2002~03年度
国際ロータリー会長
ピヂヤイ・ラタクル

慈愛の種を播きましょう

小笠原 孝会長テーマ 『仲間を増やしロータリーを広めよう!』



7月22日バナー公式訪問(市内5クラブ合同例会)

《第1882回例会》 第5号 7月31日(水)

本日のプログラム

「ロータリー手続要覧について」

第2510地区バナー補佐 松見 修二氏

★会長 小笠原 孝 ★幹事 増田定雄

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局 函館市大手町5-10 ニチロビル4F TEL23-3870

加藤健太郎 会長(函館R.C.)

Q：先程の月信にも少し関係しますが、今年から地区で出来ましたIC委員会は、実際にどの程度の事まで進めていったらいいのか、月信のあり方と共に、教えて頂きたい。

A：委員会活動は原則的には、委員会の自主性にお任せしております。ですから、IC委員会は、IC委員長以下委員のお考えなる事を私共でフォローしていき、もし何かあれば、こちらからお願ひすることもあるかと思ひます。その各委員の自主性にお任せして頂きます。質問の背景にはこれだけ情報化の時代に、今さら月信の様な活字体のものを必要なのかという意味合いが含まれておりますが、どれだけ情報が溢れていても、自分の目で好きな時に、自分の情報を見るのがこの月信であり、地区のロータリーの友でありたい。ロータリーの友よりもっときめ細かな、地区ならではのものをつくっていきたいと思っております。ロータリーの心(慈愛の心)はまず自分の家庭からである。『慈愛の種はまず家庭に播きましょう。』という事で、家庭奉仕委員会も全国でここだけだと思ひます。慈愛の心はまず我が家ではないでしょうか。そういう意味で家庭奉仕委員会を始めさせて頂きました。家庭奉仕委員会にも、この10・11グループからも御参加頂いておりますので、宜しくお願いいたします。

(会報担当者：成田 豊 委員長)

◎ 7月10日出席報告

会 員	49名	出席率対象会員		出席率規定免除会員	
		出席	欠席	出席	欠席
当日出席	25名	22名	1名	22名	1名
他クラブ出席	12名	37名	0名	37名	0名
出席率		80.43%			

・テレビオンサービス(例会移動案内)電話 23-2377番

次回・8月7日
プログラム

「航空業界あれこれ」

日本航空機頭館支店 支店長 出原 和正氏

時間	次 第	担 当	内 容
12:40	食事前内	中村会長	
12:50	ニコニコBOX報告	中村会長	ニコニコBOXの報告をさせて頂きますが、時間の都合上各クラブ報告はそれぞれ次週例会時にお願いをいたします。
12:52	ガバナー紹介	中村会長	これより小林ガバナーのスピーチをお願い致しますが、会員皆様方のお手許にはガバナーのプロフィールがあるかと思しますので簡単にロータリー歴を紹介させて頂きます。
12:55	ガバナースピーチ	小林ガバナー	スピーチ
13:15	質疑応答		
13:23	終了	中村会長	お話ありがとうございました。 小林ガバナーの2002年～2003年度のR1テーマ、そして地区重点目標をお聞かせ頂き、あるべきロータリーをそしてクラブの有り方について目的を同じくし、この一年間進んでまいりたいと決意を新たに致しました。 貴重なお話し誠に有難うございました。
13:24	出席報告	中村会長	出席報告をお願い致しますが、先程も申し上げました通り時間の都合上、他4クラブの出席報告についてはニコニコBOXと同じく次週クラブ例会に報告をして頂きたいと思致します。
13:26	諸事お知らせ	S A A	ここで諸事お知らせがありますので石田副S A Aよりお願い致します。
13:30	閉会	中村会長	以上を持ちまして国際ロータリー第2510地区小林博ガバナーをお迎えしての市内5クラブ合同例会を終わらせていただきます。
13:31	点鐘	中村会長	

◎親睦活動委員会

ニコニコBOX投入報告

国際ロータリー第2510地区ガバナー	小林 博氏……ガバナー公式訪問です。
国際ロータリー第2510地区地区幹事	米山 道男氏…… ”
国際ロータリー第2510地区ガバナー補佐	遠藤 哲二氏…… ”
国際ロータリー第2510地区ガバナー補佐	松見 修二氏…… ”
小笠原会長・増田幹事……	小林ガバナーをお迎えして。
北村会員・新 会員・中野会員・高橋会員・大谷会員・中川会員・数下会員・田畑会員	
木戸浦会員・権谷会員……	小林ガバナーをお迎えして。

◎公式訪問ガバナー挨拶 第2510地区ガバナー 小林 博氏

本日は3つのご事を申し上げたいと思います。1つは地区リーダーシッププログラム(DLP)のことです。

DLPの主な狙いはガバナーの仕事の相当部分をガバナー補佐にお願いくること、公式訪問の例会は努めて合同例会に出席すること、余裕のある時間はそのガバナーならではの仕事に邁進すること、というようなことです。今日このように函館市内の5つのクラブが2つのグループにまたがりながらも一堂に介する機会が初めてのことだと思います。ただこのDLPの陰には、遠藤ガバナー補佐、松見ガバナー補佐に大変ご苦労をお掛けしていることに對し、この席を借りて御礼申し上げます。



2つ目は、月信の全員講読の件と顔写真付き地区会員名簿の作成のことです。R1会長のピチヤイ・ラタクルさんはアナハイムにおける国際協議会以来、これからのロータリーはトップダウンではなく、ボトムアップでなければならぬと幾度も強調されてきました。このボトムアップとはどういうことか。一人ひとりの会員のロータリーに対する熱情を結集し、それをクラブに反映すればそのクラブは良くなり、さらに、グループ、地区の活性化にもなるでしょう。要は地区の全会員が秘めたロータリーへの思いを率直に披瀝し、「新しい月信」を介して意見を交換することから始めなければいけません。意見交換は喧嘩ではありません。お互いのロータリーへの熱い思いを語り合うことで新しいロータリーを創造していきけるのではないのでしょうか。

また、顔写真付き会員名簿につきましても、自分のクラブ以外、隣りのクラブの誰であるか、まして離れた町の会員のことは全く分かりません。「会えばやあと言おうよ」という精神は、現実には生かされておりません。もし顔写真付きの名簿があれば、「やあ」と言うことも出来るでしょう。親睦も生まれ、そこから新しいロータリーの活性化も始まるのではないのでしょうか。

3つ目は、ロータリーとは何だかという事です。結論を先に申し上げますと、私の考えるロータリーとは「愛を実践するところ」と理解しております。世の中には大事なもの沢山あります。お金がなければ立派な食事をとることも出来ませんし、また健康あつてのロータリーであります。でも我々はいつかは健康を損ないこの世を去る運命ですし、その時には皆お金を持って行けません。残るは愛だけだと思います。かつてテレビキャスターの逸見政孝さんが末期がんで亡くなられる一月ほど前、テレビの画面で「私の今もつとも頼りにするものはこちらにある家族の愛だけですよ」と言っておられました。私自身も医学、特にがんを専門にする者として北大を定年後ポランテニアでがん相談を行っております。自分の死を知った人、或いはその人を支える家族の方々に既に10年ほど相談に関わっております。私なりのアドバイスを申し上げますが、むしろそういった方々から多くのことを学ばせていただいております。我々の人生にとって最も大切なことは、弱い者、悩める者に対するいたわりの心、優しい心ではないでしょうか。仏教で言う「慈悲の心」です。このことはピチヤイ・ラタクル会長の「慈愛の種」と一致し、この言葉をお聞きして私は心から感動を覚えたのであります。

また月信にも書きましたように慈愛の種はまず家庭から播きましましょう。皆さんの家庭をそれぞれ大事にしてください。家庭あつてのロータリーです。そして皆で力を合わせて地区のロータリーを盛り上げて行くことではありませんか。